

(公社)日本ホッケー協会中学校部会



第1回常任委員会議事録

期 日: 令和4年5月28日(土) 13時00分～16時00分

会 場: JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE (3階の会議室10) 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号

参加者(敬称略)

中学校部会会長: 高橋千春(宮城県: 築館中学校校長)

中学校部会事務局長: 久保克敏(京都府: 瑞穂中学校)

事務局: 徳光 寿(山口県: 末武中学校)

競技部: 鈴木良子(兵庫県: 丹南中学校)

審判部: 尾木典隆(奈良県: 桜井西中学校)

常任委員: 松村洋介(東北)、佐々木亮太(関東)、柳生香奈(北信越)、山本 誠(東海)

山田享平(近畿)、道端良之(中国)、岩尾幸美(九州)

U-15 海外遠征事務局: 幸田伸也(奈良県: 郡山南中学校)、吉原荘二(宮城県: 東豊中学校)

令和4年度全中大会事務局: 鈴木 隆之 (栗原市教育委員会社会教育課)

酒井 洋行 (栗原市教育委員会社会教育課)

常任委員会

・ 構成員: 17 名

・ 出席者: 16 名

規約第 6 章第 19 条

に則り本会は成立

文責: 徳光 寿(事務局)

1 開 会

2 あいさつ

会に先立ち、高橋千春中学校部会会長(宮城県築館中学校校長)にご挨拶をいただく。昨年度末に行った令和3年度第2回常任委員会で協議したことをベースに、本会議でブラッシュアップし、本年度の事業がよりよくなるように協議していきたいことを確認した。

3 協議事項

(1) 第52回全日本ホッケー選手権大会・・・・・・・・・・・・ (大会実行委員会、事務局)

・ 「実施要項」「競技運営規程」「会場関係」その他の検討

別刷資料あり

○説明に先立ち、昨年度末に起きた地震における被災状況について大会実行委員から説明があった。

→競技に直結する被害はないが、開会式等一部使用する予定だった施設に被害が出た。

(築館体育センターアリーナ使用不可→築館中学校体育館に変更)

→開会式については、コロナ禍ではあるが、参加した選手に少しでも思い出に残る大会にしたいという地域の熱い思いより人数を制限して行うこととする。開会式の参加人数を各チーム選手2名、監督1名、計3名とする予定である。

○今年度もベンチの消毒をおこなうため、競技の運営上(1日目は試合数が多いため)1日目の試合時間を短縮しておこなう。(昨年度と同様)

→1日目は6分クォーターで行う。2、3日は15分ハーフ。2、3日目の給水タイムについてはTD判断。

→ベンチ消毒は、実行委員で準備したものを使って、試合が終わったあとに各チームが行うことを基本とする。(各チームに協力依頼)

○競技時間について昨年度同様、今年度も宿泊会場が広範囲になることから9時00分からの開始を9時30分開始にする。(昨年度と同様)

○参加申込は8月5日までとする。近畿地区はブロック予選が8月6～7日のため、ブロック予選に参加するチームは事前に参加申込を実行委員に送付する。(例年通り)

以上のことをTDと相談する方向で検討した。

・宿泊・弁当要項について

○ホテル業界、弁当業界厳しい状況にある。

→負け帰りに関するキャンセルポリシーについては、業者側の最大限の努力の結果であることを理解していただきたい旨の報告があり、承認された。

○シングルルームを中心に確保している。保護者の宿泊については大会が無観客になる可能性もあることから、業者負担を減らす観点で業者の斡旋をしない方向で進めることをR4.2.26常任委員会で確認済み。

*全中大会および11人制大会の宿泊についての留意事項

- ・大会期間中については、必ず大会事務局を通して宿泊申し込みをする。
- ・弁当については、以前より希望制としている。
- ・全中大会では大会初日(開会式の前)に公式練習を設ける。

・各ブロック参加枠数の最終確認

各ブロックの意向を確認し、決定した。

これを踏まえて、東海が1枠、九州が2枠となり、下記のようにブロック枠を決定した。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	優勝枠	合計
男子	0	3	4	3	2	4	3	1	2	1 宮城	1 中国	24
女子	0	3	4	4	1	4	3	1	2	1 宮城	1 中国	24

・ブロック枠の確認

・全国大会シード権(組み合わせ抽選)及び決勝トーナメントの組み合わせ抽選の確認

全国大会のシード権について やり方:確認(シードが9チームの場合)

①前回の全中でベスト4に入った府県ブロックを先に分ける。

②その後、各ブロックのシード校をランダムに抽選する。但し、予選会を行わずに全中に参加をしている府県はシード扱いをしない。

よって、1つのブロックの中にシード校が2つ入ることができる。

具体的には・・開催地枠と今年度のベスト4に入ったブロックは、同ブロックにシードチームが2つ入らないように抽選をする。

令和3年度男子ベスト4 優勝：八頭（中国） 準優勝：東原（関東）
3位：瑞穂（近畿）、朝日（北信越）

R4開催地枠 宮城（東北）

令和3年度女子ベスト4 優勝：瀬戸（中国） 準優勝：横田（中国）
3位：大谷（北信越）、伊吹山（近畿）

R4開催地枠 宮城（東北）



上記結果により、令和4年度の男子については、開催地枠（東北：宮城県）と中国ブロック、関東ブロック、近畿ブロック、北信越ブロックの1位と開催枠ブロックの5チームについては、先に抽選を行い、この5チームについては同一ブロック内に入らないようにする。その後、他ブロックの1位を抽選する。女子も同様に行う。

・決勝トーナメントの組み合わせ抽選

決勝トーナメントの組合せについては、今年度も全ての予選リーグの試合が終了した時点で抽選を行う。

・代理抽選については本年度もおこなう。

資料0

(2) 令和3年度「事業報告」「収支決算報告」・・・（事務局 会計）

資料 1、2

事業報告（資料1）、収支決算報告（資料2）を報告し、承認される。

(3) 令和4年度中学校部会役員（案）・・・（事務局）

資料 3

資料5の役員案で承認される。

- ・2年任期を基本とするが、人事の都合などでその通りにはなっていない。
- ・会長・・・今年度全中大会開催地より高橋校長（宮城県築館中）先生にお願いする。
- ・副会長・・・次年度全中大会開催地より戸井校長（岡山県瀬戸中）先生にお願いする。
- ・常任委員、専門委員の交代について確認

(4) 中学校部会規約・・・（事務局）

資料 4

全中大会で、生徒がけがをして訴訟問題になりかけた事象がありました。その時にも中学校部会として保護者、学校に「この大会は学校管理下である」ということを訴えた。やはり確認しておくことは、難しい判断が迫られる場面に度々直面するが、判断の基準は

第2章 目的

第3条「本会は（日本中学校体育連盟規約に従い日本ホッケー協会と協力して）ホッケー競技をとおして体育の振興と、中学校体育の健全な発達を図ることを目的とする。」

つまり、当部会は、義務教育である中学校の活動であることが大原則であることから「学校管理下」と認定できるか否かが重要なポイントになる。

→中体連が令和5年度から全中大会にクラブチームの参加を認めるという動きがある。これについては、今後の日本中体連の動向を確認しながら、令和4年度第2回常任委員会で協議することを確認。

・運動部活動指導員の取扱いについては認めている。

(5) 令和4年度「事業計画(案)」「収支予算書(案)」・・・・・・・・・・・・・・・・（事務局）

令和4年度事業計画（資料5）、収支予算書（資料6）を確認し、承認される。

(6) 中学校部会協力金「個人登録料」の納入について・・・（事務局）

資料 7

=個人登録料を始めた経過=

*H24年度全国委員会(H24.8.17.)において、今後も継続的にU15海外遠征を続けていくにあたって、引率スタッフの自己負担を軽減するための補助金として、中学校部会「協力金」の値上げすることで同意を得た。

*なお、具体的な金額等について検討(H24第2回常任委員会、H25第1回常任委員会にて)した結果、選手1人に対して登録料として協力してもらうことが、公平感があり良いという結論に至った。

*H25年度全国委員会(8/16)にて承認され、中学校部会として登録料を徴収することとなった。

*令和4年度の「登録料」徴収について

1)各常任委員から、ブロック内各チームに「個人登録料」の納入について連絡

2)併せて、常任委員は、ブロック内各チームの6/1現在の部員数を調査し事務局に報告

※報告先=事務局会計：北島

3)別紙「資料7と7-2」の要領にて、各チームは6/30までに登録料を納める

2)各常任委員は、納入の滞っているチーム等に催促をする

・6月1日に個人登録料についてホームページにアップすること、各常任委員から各チームに周知することを確認。

(7) 全国大会内規事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（事務局）

・合同チーム編成条件の再確認 →協議(8)で

資料 8

・北海道の参加はなし

・R4年度以降の全中大会開催地について

R4：東北ブロック 宮城県で決定

R5：四国ブロック→中国ブロックで開催 岡山県で決定

R6：北信越ブロック、R7：九州ブロック、R8：中国ブロック

R9：近畿ブロック、R10：関東ブロック、R11：東海ブロック

※令和4年度中に令和6年度の全中開催地の内定を目指す。

R6年北信越ブロックについて富山県が開催を検討していただいている。北信越ブロックの総意であれば、本年度中に内定、決定へと進める。

(8) 合同チームの承認について (事務局)

・男子 12 (昨年度 11) チーム、女子 9 (昨年度 10) チームが申請 《申請状況 5月25日現在》

ブロック	男子	女子
東北	岩手 (川口 6・一方井 4) 山形 (川西 19・宮内 1・米二 3・米三 1) 福島 (棚倉 12・塙 2)	青森 (堀口 4・第一 4) 山形 (川西 18・小国 1・米五 1) 宮城 (築館 13・栗原西 1)
関東	栃木 (大沢 12・落合 5) 埼玉 (飯能第一 4・加治 1・野田 4・西武 2)	栃木 (今市 12・落合 1) 埼玉 (加治 3・飯能西 3・武蔵台 1・浦和 1)
北信越	新潟 (巻東 22・巻西 4)	
東海	岐阜 (蘇原 5・稲羽 5・那加 3)	岐阜 (那加 8・稲羽 2)
近畿	兵庫 (篠山 1・丹南 12)	兵庫 (篠山 4・丹南 6)
中国	山口 (玖珂 9・周東 1・麻里布 1)	山口 (玖珂 7・高森 4)
四国	愛媛 (松前 2・北伊予 2・岡田 5) 香川 (綾川 3・坂出 1・宇多津 1・国分寺 2)	愛媛 (松前 5・北伊予 1・岡田 2・東雲 1)
九州	佐賀 (伊万里 13・啓成 2)	

- * 学校長の承認は必要 . . . 学校管理下による大会実施を守る
- * 教員 (部活動指導員府含む) による引率は必ず必要である
- * 合同チームとして認められる範囲は . . . 活動実績のある 4 チームまで (R3.4.19 承認)
- * レンタルによる合同チームについては、現状では全国大会については認めることはできない。

→上記、チームはすべて承認された。

・合同チーム申請方法の変更について

- ①合同チームの申請をするチームは第1回常任委員会の10日前までに各ブロック常任委員に申請をする。
(申請書の p d f での提出締切)
- ②第1回常任委員会の1週間前までに各ブロックの常任委員はブロックの状況をまとめ、事務局に申請書の p d f をメールで送り報告する。
- ③合同チームの申請書原本は各ブロックの常任委員が常任委員会に持参する。(※各チームは常任委員会までに常任委員に原本を送付すること。)

→合同チーム申請方法の変更について上記のように確認した。

(9) エリートアカデミーについて (U15 (J - S T A R 担当) 松村)

・担当の松村先生から本事業の説明があり、今後も松村先生を中心に本事業を進めていくことを確認。

(10) 競技部・審判部より (競技部：鈴木、審判部：尾木)

＝競技部より＝

- ・本年度から中学部会においても手当者の登録も必要になること。
- ・本年度に限り、チームスタッフが複数のチームに登録をする場合も 1 チームのみの登録料で可能であること。

→上記のことを各常任委員から各チームに周知することを確認。

=審判部より=

- ・センターラインを越えてのフェイスマスクの着用ができないこと。再度ルールを各顧問がしっかりと確認をすること。
- ・全中と国体予選の日程が重なっていることから審判不足の懸念がある。例年、いわれているが審判の資格やジャッジ等の資格を中学校部会から各校へ発信してもらいたい。

というお願いがあった。

→上記のことを各常任委員から各チームに周知することを確認。

(11) 第23回全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会について

- ・日程：令和4年11月12日（土）、13日（日）
- ・福井県で2年間延長（R4、R5）
- ・大会参加費を10,000円増額（参加費40,000円）
- ・大会出場選手、スタッフの事前確認やプログラム作成にあたり中学校部会の協力、開会式の簡素化、U15テント借用など具体的な調整を行う。」
- ・日本ホッケー協会から11人制大会に対しての補助金の増額（120万円）

★令和6年度からの11人制大会に向けて動き出す必要がある。今年度（R4）に11人制実行委員を立ち上げ、中学校部会競技部を中心として各ブロックより次世代のリーダーを募り実際に動き始めることが必要。

→中学部会競技部から1名、審判部から1名、各ブロック専門委員を中心に1名ずつ計7名、事務局から1名、計10名で実行委員を立ち上げ、活動していくことを確認。

(12) ジュニアユースU15日本代表チームについて・・・・・・・・・・（遠征事務局：幸田）

・選考会について（案）

日 程：男子の選考会 9月17日（土）～19日（月） 2泊3日で宮城県栗原市
女子の選考会 9月23日（金）～25日（日） 2泊3日で愛媛県松前町

宿泊先：現在調整中

→男子については2面で行うことを確認。

・スタッフについて

→本年度人事異動で変わっているスタッフも多いので、早急に確認をしていく。

・海外遠征の概要

FHEカップについて

WAは開催の方向 マレーシアは参加するということ

FHEカップ 11月24日（木）～27日（日）

遠征に行くなら、11月20日（日）出発、29日（火）帰国

→中学部会としては現状では「海外遠征を実施」ということを確認。

海外遠征を実施するためには、海外遠征に参加できるスタッフを確保することが最優先課題である。色々な面で海外遠征を実施できる環境が確保できたら海外遠征を実施することを確認。

連絡事項・その他

- (13) 全中大会優秀選手について（選考方法：確認）

- (14) 中学校部会 HP のアップについて
ブロック大会（全中ブロック予選）の結果を HP へのアップ（確認）

- (15) 地区(東・中・西)優秀選手の選考～表彰ついて（確認）

最後に、日本ホッケー協会中学部会会長高橋千春（宮城県築館中学校長）様から閉会のごあいさつをいただいて会を閉じた。